

訪問看護コース

修了生の声

受講前の準備について

健康管理が
大切です

家族のみんなに、忙しくなることを伝え、協力の理解をしてもらうことが、大事な準備だと思います

自分が不在にしても大丈夫なように職場の調整が必要です。

看護過程
をもう一度復習し
ておくともとも良
いと思います

日頃の自分の看護実践
を文章にする練習をし
ておくとも良いです

仕事を休むため、周囲が
困らないように早めに仕
事の整理を始めました。

レポート
や小論文の書き方
を学んでおくとも良
いと思います

パソコンの操作
は必須です。

学校に持って来られる
ノートパソコンがある
といいと思います。

遠距離通学や宿泊について

飛行機、夜行バス等を利用し通学しました。

ビジネスホテルとカプセルホテルを使い分けしていました

遠距離通学は天候や自然災害に影響を受けるため、天候や運行状況を常にチェックしていました

実習においてウィークリーマンションを利用しました

木曜日に新幹線で東京に来て土曜日に帰る生活で、職場や家族の協力がありました

無理せず、できれば前泊をおすすめします

乗車時間に読書や資料をみたりできました。

交通手段は、バスや新幹線と、体力と家計を考慮しながら選択しました。

学業と仕事、家庭の両立について

職場の理解を得て、調整してもらい、集中講義や実習以外にも記録や抄録、成果報告会の準備のため、休みをいただいていた。

課題が少なく余裕がある時は、家族が喜ぶご飯を作るようにしました

職場、家庭の理解を得ておくのが大切だと思います

夏の集中講座、実習から成果報告会までは家族の協力が必須です

金・土の授業と、集中講義と実習の2回長期間、仕事を休むことになります。職場の協力と応援があっこそ、勉強できる環境が整います。

お子さんが小さい方は、夫の協力が不可欠です。

集中講義中は、毎日で体力、気力が必要でした。

講義について

短い期間でかなりの量をやるので、仲間との助け合いが必須だと思います

テストは負担に感じるとは思いますが、テストのおかげで知識が頭に残るので、頑張ってください

最初は不安だらけでしたが、終わってみると、こんな自分でもやってこれたんだなあと思いました。

たくさんの本を読みました。予習復習は、大事です

興味のあるなしに関わらず、色々な分野の講義や講師の意見が聞けて視野が広がりました。

集中講義では、普段聴くことが出来ない倫理や法律の話も聴くことができ、他にも認定看護師になるための基礎知識を沢山学ぶことができます

グループワークについて

自分の傾向を知れる良い
機会でした。

当初は苦手でしたが、みんなで考えて意見交換して、発表できる過程を楽しめるようになりました

その都度違うメンバーと意見交換することで色々な考え方があることを知り、色々な意見をもらうことができました

グループワークが得意ではありませんでしたが、自分以外の研修生の話やアドバイスを聴いて、これまでの自分の思考が偏っていたことに気づきました。

自分の思考を相手に伝えることや、質問力を繰り返し鍛える時間になりました。一人では進まないことも、仲間がいて進むことができました

自分の意見を自分の言葉で伝えることが最初はできなかったけど、クラスメイトに支えられ、最後はきちんと話せるようになりました

実習について

実習先は、どこに行ったとしても勉強になると思います。自分で行きたいと思ったところに行き方がよいと思います。

都会を電動自転車で移動するのはテクニックが必要です

実習は、体調管理をし、今まで勉強してきた事を実践する場でした

ケアプランを何度も何度も書いたり伝えたりする事で、研ぎ澄まされている実感が出ます

主体的に指導者に相談していくことが大切です

看護師としての自分と向き合うこととなります。心身ともに辛いこともあるため体調管理と、なんでも話せる仲間が大事です

実習後の実習成果報告会は、日ごろの看護について言語化する機会になると感じました

その他

自分用に持ち歩き出来るパソコンがあるとよいです。

集中するためにも気分転換が必要です。ご自分なりの気分転換方法を、いくつかもっていると助けになると思います

クラスメイトと、協力しあって、情報交換しながら乗り越えてください

仲間と共に学ぶ事の大切さが身にしみました

何かあれば、先生も相談にのってくれるので安心してください

出会えた研修生は、9ヵ月間苦楽を共にするので、とても宝となります。

常に自分と向き合った9か月でした。自分の課題に向き合う時間です。しかし、それを受け止めて克服してください。得意なことは更に伸ばすことができます。自分の気持ち次第で、成果は大きく変わると思います。